

放射線治療科レジデント研修カリキュラム

放射線科専門医(治療)を目指す

研修目的

放射線科専門医(治療)の取得に必要な放射線腫瘍学の習得

研修目標

GIO(一般目標)

1. 各臓器の病態生理を理解し、各臓器悪性腫瘍の診断やがん治療全般の知識を習得する
2. 総合的な診断能力を身につけ、適切な治療方針を決定する
3. 放射線治療の理論、方法、技術を習得する
4. 教育能力を身につける

年度別到達目標

1年目到達目標

下記研修内容を実践する。

2年目到達目標

さらなるスキルアップを図る。

指導体制

指導医師は6名(放射線治療科部長・他医師スタッフ)

資格として放射線科専門医(治療)を有する。(他、がん治療認定医、放射線科研修指導者など)

研修内容

SBOs(行動目標)

<診療>

1. 放射線治療計画に必要な身体所見をとることができる
2. 放射線治療計画に必要な臨床情報(病歴、検査値、画像診断)を収集することができる
3. 他科の医師や、看護師、放射線治療技師、医学物理士等の関係スタッフと、患者の治療方針について話し合い、情報を共有することができる
4. EBMに基づいた治療方針を立てることができる
5. 適切な位置決めをすることができる
6. コンピューターで最適な治療計画を作成することができる
7. 放射線治療精度を確認し、継続・変更などの適格な指示を出すことができる
8. 放射線治療中の急性反応、治療効果の所見をとることができる

9. 指導医のもと、患者の状態によって治療方針の変更などを適格に判断することができる
10. 放射線治療後の治療効果を判断することができる
11. 外来患者の経過観察を行い、慢性有害事象の発症の有無を診断することができる

<教育能力>

1. 医学生・臨床研修医に対して、診療を通して知識や手技を伝授できる
2. 臨床研修医の臨床研究について指導できる

<臨床研究>

1. 臨床研究を立案し、実践することができ、研究に必要な情報収集・管理が的確にできる。
2. 学会で、臨床研究を発表することができる
3. 臨床研究を学術誌に投稿できる

研修スケジュール

- LS1 : On the job training (OJT)
外来診療において、各種の臓器がん症例について、各々1例～10例を担当し、診察・放射線治療計画・外来経過観察を行う。希望に応じて、他診療科での研修も行う。

- LS2:勉強会

放射線治療計画カンファレンス:毎夕 16 時 00 分より、位置決め症例に対して、放射線治療計画について個別に検討する。

- 放射線治療照会カンファレンス:毎夕 17 時 30 分より

放射線治療に関わるすべてのコ・ワーカー(医師・放射線治療技師・看護師)と診療に関して検討と情報共有を行う。

- 指導医によるミニレクチャー:随時

各臓器担当医が専門領域の放射線治療について講義する。

- 他診療科とのカンファレンス:

呼吸器がんボード 毎週金曜日(16:30 より)

頭頸科がんボード 毎週木曜日(08:15 より)

婦人科がんボード 毎週月曜日(17:00 より)

上部消化管がんボード 毎週水曜日(16:00 より)

大腸がんボード 毎週火曜日(17:00 より)

肝胆膵がんボード 毎週火曜日(18:00 より)

泌尿器科がんボード 隔週木曜日(16:00 より)

骨軟部がんボード 隔週水曜日(16:30 より)

- ランチョンセミナー(抄読会)隔週水曜日(12:30 より)

- LS3:学術活動

<臨床研究>

- 教育セミナー

日本放射線腫瘍学会夏季セミナー、日本医学放射線学会秋季大会に参加し受講する。

- 国内学会
日本放射線腫瘍学会、日本医学放射線学会、日本癌治療学会の各総会または部会において参加し発表する。
- 国際学会
米国放射線腫瘍学会 (ASTRO) または粒子線治療国際会議 (P TCOG) に参加し、国際的な雰囲気慣れ、見聞を広める。
- 論文作成
学会において発表した症例報告および臨床研究を論文として執筆する。

<資格取得>

- 日本医学放射線学会 放射線科専門医
- 日本医学放射線学会 放射線科専門医(治療)
日本専門医機構の認定規定に基づく、神奈川県立病院機構放射線科専門研修プログラムに則って、取得に必要な研修を行い、資格取得を行う。

研修評価方法

原則、神奈川県立病院機構放射線科専門研修プログラムに則って、専門医取得に必要な研修を行えているか評価を行う。

最終改訂：令和4年3月16日